

大多喜城 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜 481

1590 年本多忠勝(四天王の一人)は徳川家康からこの地を任されると近世城郭としての大多喜城を築き初代城主となりました。忠勝は家康の片腕として重んじられた人物で生涯 57 回にわたる戦に参戦しながらも、かすり傷ひとつ負わなかったといわれるほど勇猛な武将だった。現在の大多喜城は昭和 50 年につくられ博物館として「房総の城と城下町」をテーマに房総の中世・近世の城郭とそれに関わる武器・武具や調度品・古文書、武家社会や城下町の生活などに関する様々な資料を展示していますが、登城した時には大多喜城分館は施設改修のため休館して建物部分への立ち入りは出来ませんでした。(説明版、旅コト塾)



参道



説明版



天守



具足の展示



堀、井戸、石垣の説明版



水道跡地